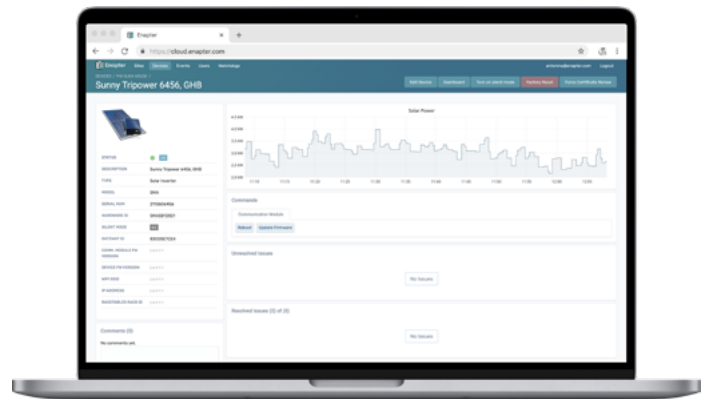
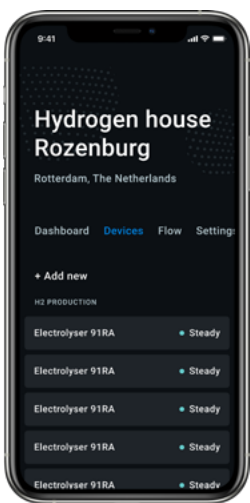
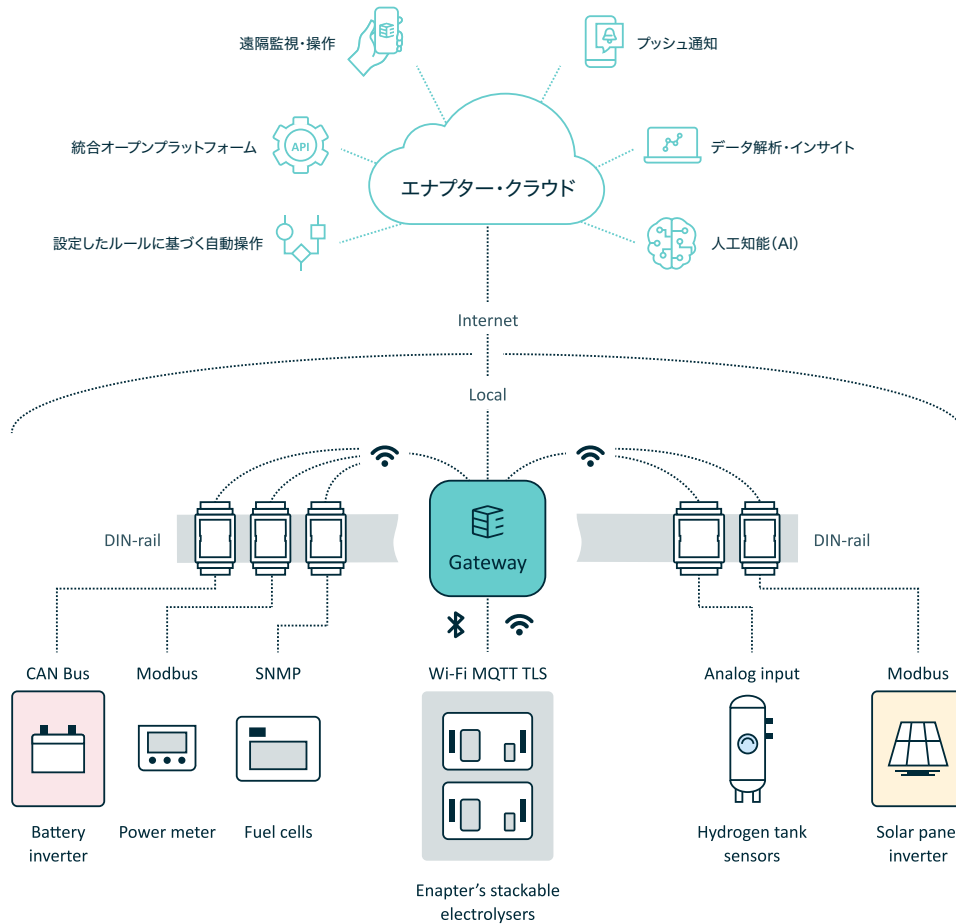


エネルギー マネジメント システム (EMS)



エナプター独自のエネルギーマネジメントシステム(EMS)を使えば、直感的な操作で水電解装置とドライバーの監視・制御が可能となります。また他社機器(燃料電池やセンサー、タンク、太陽光・風力発電設備など)とも簡単に統合できます。EMSは次世代のエネルギーシステム制御ソフトウェアです。



Webサイトやモバイルからアクセスできる包括的なダッシュボードは、EMSの「顔」です。接続されているすべてのデバイスを一元的に監視・制御することが可能です。水電解水素製造装置の監視・制御だけでなく、エネルギーシステムの総合的なデータ解析にも対応可能です。

EMSにより、水素製造システムのエネルギー消費やコストを削減し、**効率を最適化**できます。通常と異なる動作が生じた場合は、カスタマイズ可能なアラート機能 (SMS、Eメール、電話) で通知され、エネルギーシステムを守ることができます。設定したルールに基づく管理システムのため、ユーザーがエネルギーシステムの各要素の動作パラメーターを設定・変更することができます。すべてのエナプター製品には、**IoT通信モジュール**が内蔵され、遠隔による監視・制御が可能となっています。通信モジュールにより、ソーラーパネルや水素貯蔵タンク、バッテリー、デジタルおよびアナログセンサーとワイヤレス接続することができます。

産業規格に対応：すべてのソフトウェアは、MQTTプロトコルや OPC-UAサーバーインターフェースに準拠し、インダストリー4.0に対応しています。産業規格やプロトコルに対応。

RS-485方式やCAN、Modbus、SNMP、HTTP、その他のEMSなら、他のデバイスも簡単に追加できます。通信機器に接続し、**QRコード**をスキャンするだけで、新しいデバイスを作動させることができます。あらゆるデータは、**24時間常時予測監視システム**を備えたクラウド (軍用レベルの暗号化で保護) に保存されます。エナプターはTLS 1.2プロトコルに対応し、高度なセキュリティ環境を構築しています。X.509規格に基づき、有効期限や自動更新によるデジタル証明書を利用しています。

モバイルファーストすべての機能をモバイルプラットフォームに集約し、ユーザーがフレキシブルに利用できるよう配慮しています。

エナプターIoTゲートウェイは、インターネット接続障害の発生時も、最大1年間分のローカルデータを自律的に保存します。高度にモジュール化された拡張可能なアーキテクチャにより、カスタムセンサーデータをシステムに統合します。IoTゲートウェイは、オープンソースソフトウェアで構築されており、カスタマイズや幅広い用途に対応できるほか、企業間の連携も可能です。